



クロックワイズメカニックス

2018年 1月

一般財団法人 日本リトルシニア

中学硬式野球協会 東海連盟 審判部

審判員講習資料

参考文献：審判メカニクスハンドブック
(日本野球協議会オペレーション委員会審判部会)

◇ 最初に。

1. 審判員として。

● 試合中は、審判員に徹する事。

試合中は、審判員に徹する事。選手を指導する言動は厳禁。(プレイに公平であること)

二日酔いや、体調が悪い時には担当しないこと。(正常なジャッジは出来ない。)

試合中は疲れていても爽やかな姿勢をしなさい(周囲は審判員を見ている)。

常にきびきびとした行動をとること。

常に「野球規則」を学習すること。(野球の本質:フェアであるべき野球を考えること。)

プロ野球の真似はしない。アマチュア野球の基本に忠実に。

試合(人のプレイ)を裁くのだから、自分がきちんと自覚と責任を持たなければ。

ベンチ等からクレームが出る原因は？(ジャッジのタイミング、ジャッジまでの姿勢、ポジション・・・他

判定(ジャッジ)

アウト、セーフのジャッジは、ベストのポジションで、事実を確認して、慌てずに、急がずに。

自分では格好良いジャッジと思っている、はたから見ると、みっともないもの。

予測やタイミングでのジャッジは厳禁!

ジャッジの後も、常にボールから目を離さない。(ボールの有る所にプレイが有る。)

プレイは続く。次々と起こるプレイを予測する意識と行動を!

タッチアップ! しっかりとしたポジションでのジャッジでなければ信用されない。

◇ 本資料の「4人制審判員の動き方等」は日本野球協議会オペレーション委員会審判部会
審判メカニクス2017年版」を参考に編集しています。

◇ ストライクゾーン

【野球規則】 (2017 定義73・74)

◇〈2・7・3〉

打者の方の上部とユニホームのスボンの上部との中間点に引いた
水平のラインを上限とし、膝頭の下部のラインを下限とする本塁
上の空間をいう。

(注1) 打者が投球を打つための姿勢で決定される。

◇〈2・7・2〉

・打者が打たなかった投球のうち、ボールの一部分がゾーンの
どの部分でもインフライトの状態を通過したもの。

◇ 4人制審判の取り決め事

1. ポジショニング

- (1) 2塁塁審: 走者無し、走者3塁の時2塁塁審は、2塁ベース後方(「外」)に位置する。
: 走者1塁、2塁、1・2塁、1・3塁、2・3塁、満塁の時は、1・2塁間、または2・3塁間の内野(「中」)に位置する。 (内野手が前進守備の場合は、「外」に位置しても良い。)
- (2) 1塁塁審、3塁塁審はいずれの場合もファールラインの外側に立つ。

外野への打球(塁審)の責任範囲

A. 2塁塁審が「外」に位置した時。

3塁塁審: 左翼手より左側の打球。

2塁塁審: 左翼手正面の前後から右翼手正面の前後までの間の打球。

1塁塁審: 右翼手より右側の打球。

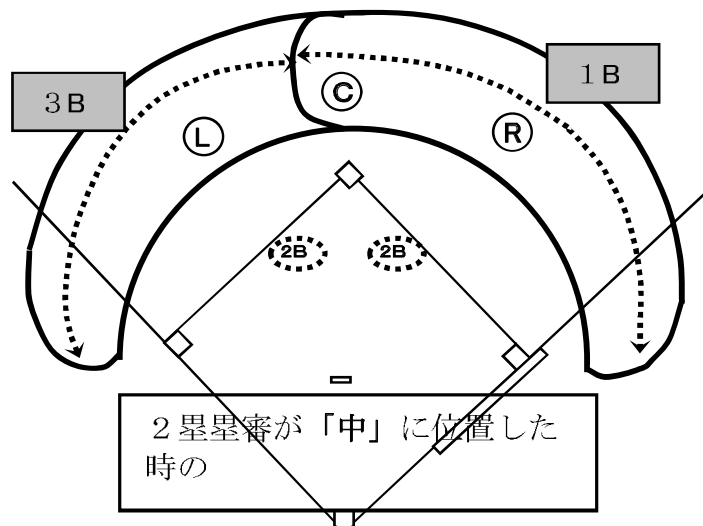
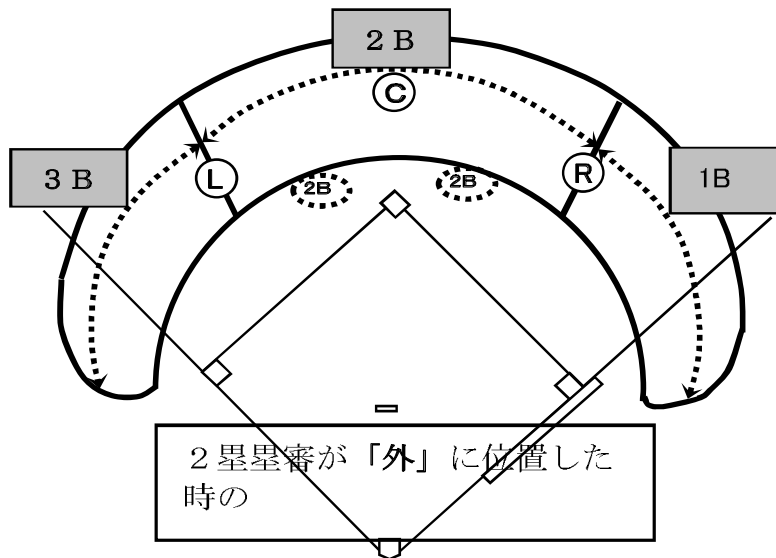
B. 2塁塁審が「中」に位置した場合・・・2塁塁審は外野への打球は追わない。(責任は持たない。)

(1) 3塁塁審: 中堅手定位置より左側の打球。

(2) 1塁塁審: 中堅手定位置から右側の打球。

C. 外野への打球を追った塁審は打球を確認した後にその場に留まり(ステイアウト)、担当していた塁は他の審判に任せる。

カバーに行った審判は、その審判(追った塁審)が戻るまでその塁を離れてはいけない(引継ぎ)。



3. 「球審」の動き

- (1) 走者無し、走者3塁の場合は3塁をカバーする動き方がある。
- (2) 走者がスコアリングポジションにいる時は、原則として本塁にとどまる(ステイ)。

◇ 審判上の基本的な取決め事項

1. 球審のジャッジ責任範囲

ア. 内野内への打球

イ. 1, 3 塁ベースまでのライン際への打球

ウ. 1, 3 塁ベース及び内野手に触れた打球

エ. 内野フライ、内野ライナー。

2. 1 塁塁審のジャッジ責任範囲

ア. 1 塁ベースを含む以遠のライン際の打球。

イ. 外野方向のファール飛球。

3. 3 塁塁審のジャッジ責任範囲

ア. 3 塁ベースを含む以遠のライン際の打球。

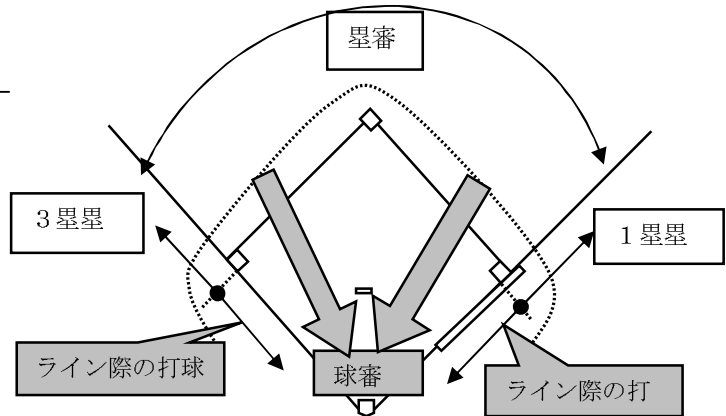
イ. 外野方向のファール飛球。

4. 注) ・ファールフライは捕球した野手に近い審判員が宣告する。・・・然し、捕球の確保、或

基本(取決め)…異なる2つのジャッジをしないため。

外野へのトラブルボールは追って確認する。(塁審の責任)

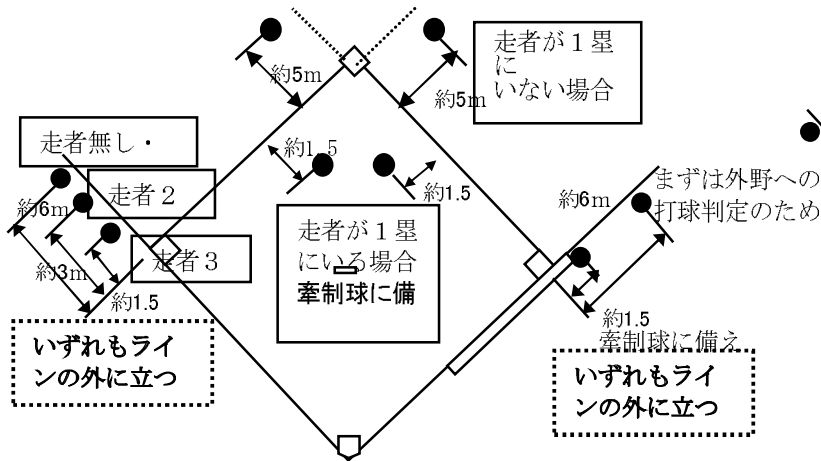
1. 右翼線または左翼線寄りの打球
2. 外野手が前進して地面すれすれで捕る打球
3. 外野手が背走するフェンス際の打球
4. 野手が集まる打球



◇ 塁審の立つ位置

凡例 ● 審判員 ★

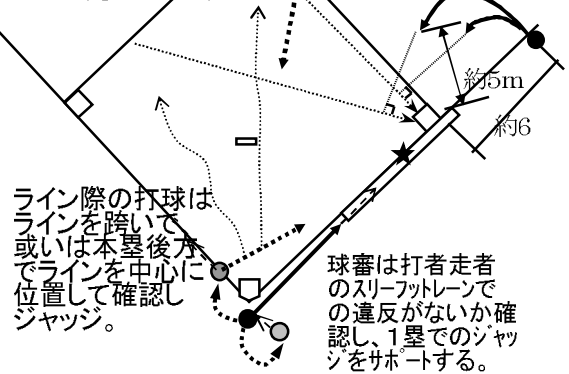
2 塁塁審：走者無し、走者 3 塁の場合は「外」(いずれの位置でも良い)
：上記以外では、「中」とするが、走者満塁、1・3 塁、2・3 塁で内



【走者なし、内野への打】

2 塁塁審は、打球送球を観ながら「中」に入る準備

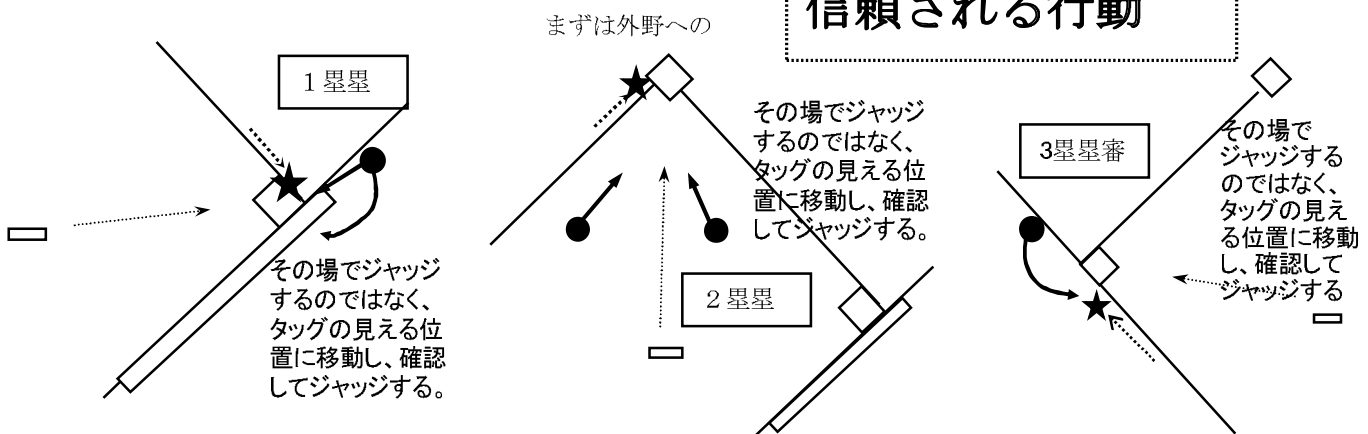
打球、送球を見ながら送球に対して直角の位置へ移動してジャッジ



ライン際の打球はラインを跨いで或いは本塁後方でラインを中心に位置して確認しジャッジ。

球審は打者走者のスリーフットレンドの違反がないか確認し、1 塁でのジャッジをサポートする。

信頼される行動



【無走者】

外野への打球判定の各塁審の範囲

1 塁塁審

・右翼手定位置から右翼線よりの打球を判定

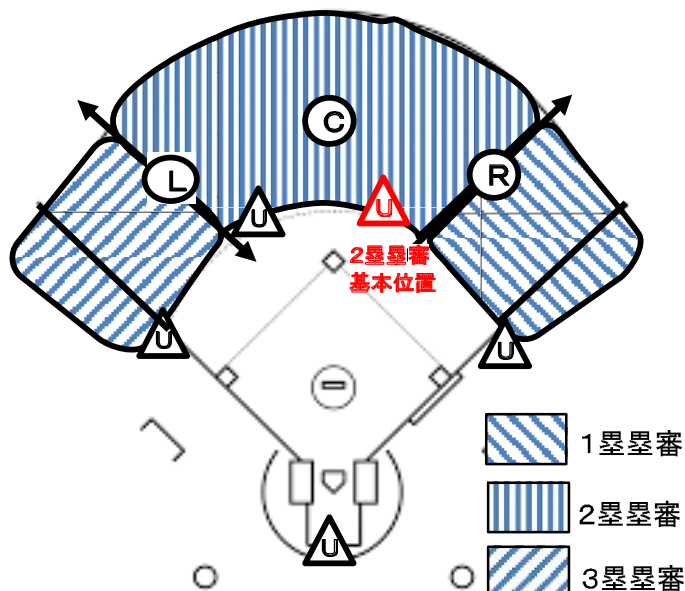
2 塁塁審(無走者時の赤色の△位置が基準)
但し、左図の左寄りに立つ場合もあります。
(2アウト単独3塁の場合も同様の位置が基本)

・左翼手定位置(正面または背後の打球)から
右翼手定位置(正面または背後の打球)の判定

3 塁塁審

・左翼手定位置から右翼線よりの打球を判定
球審

外野への打球に対しての責任は持たない。



1. 左翼手よりライン寄りの打球を3塁塁審が追った場合

PL

3 塁でのプレーに備える

1B

①打者走者の1 塁触塁を確認

②打者走者が2 塁に到達するまで、その場で留まる

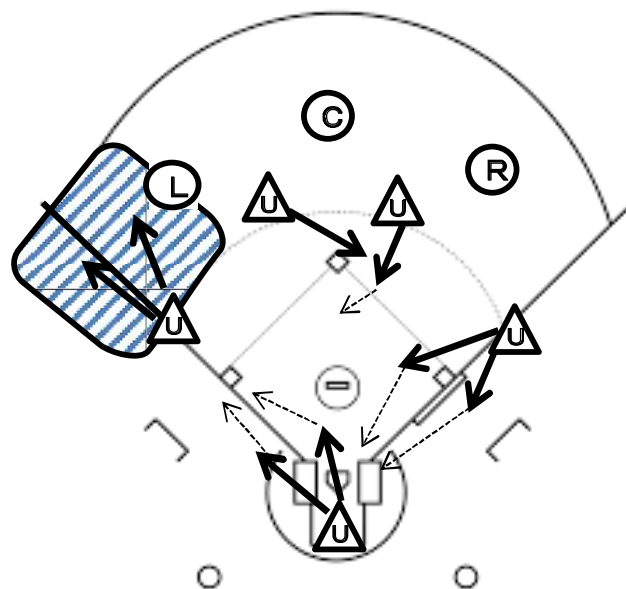
③打者走者が3 塁に向かい、球審が3 塁へ移動したら
本塁でのプレーに備える。

2B

2 塁でのプレーに備える

3B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落
するまでその場に留まる。



2. 右翼手よりライン寄りの打球を1 塁塁審が追った場合

PL

①打者走者の1 塁触塁を確認

②1 塁・本塁でのプレーに備える。

③打者走者が3 塁に向かったら本塁に戻る。

1B

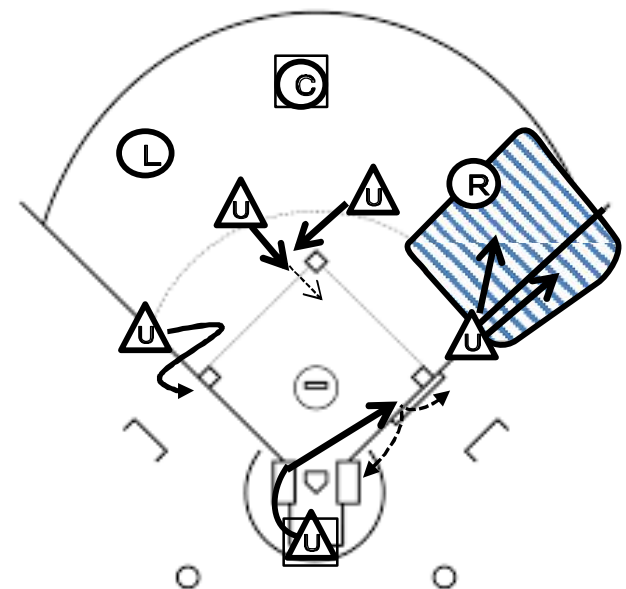
打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落
するまでその場に留まる。

2B

2 塁でのプレーに備える

3B

3 塁でのプレーに備える



3. 左翼手から右翼手までの打球を2塁塁審が追った場合

PL

3塁でのプレイに備える

1B

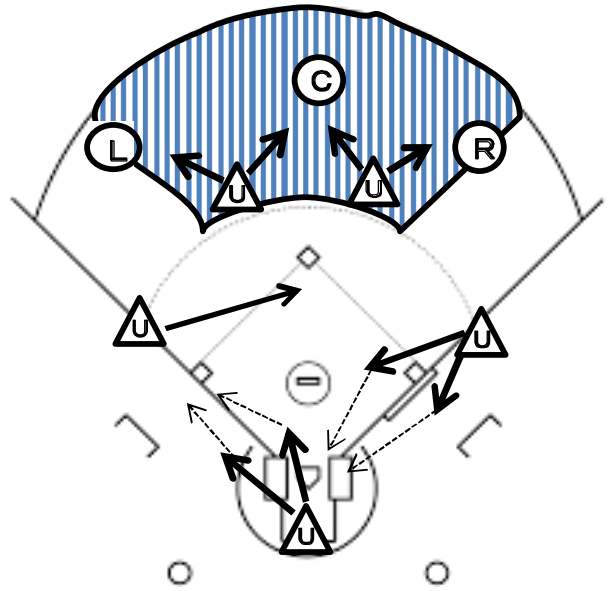
- ① 打者走者の1塁触塁を確認
- ② 打者走者が2塁に到達するまで、その場で留まる
- ③ 打者走者が3塁に向かい、球審が3塁へ移動したら本塁でのプレイに備える。

2B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

3B

2塁ベース内野内側(塁間ライン内側)に移動し、2塁でのプレイに備える。



4. 内野ゴロによって1塁でプレイが生じる時の球審の動き

PL

- ① 打者走者の後方を45フィート地点までついていく
- ② 1塁でのプレイに備える
 - a. 捕球の際、一塁手の足がベースから離れてないか確認
 - b. スワイプタグ(追いタグ)の確認
 - c. ダックアウト方向への悪送球、守備謀議の確認
 上記3項目を1塁塁審の補佐をするため、45フィートラインまで走って確認

1B

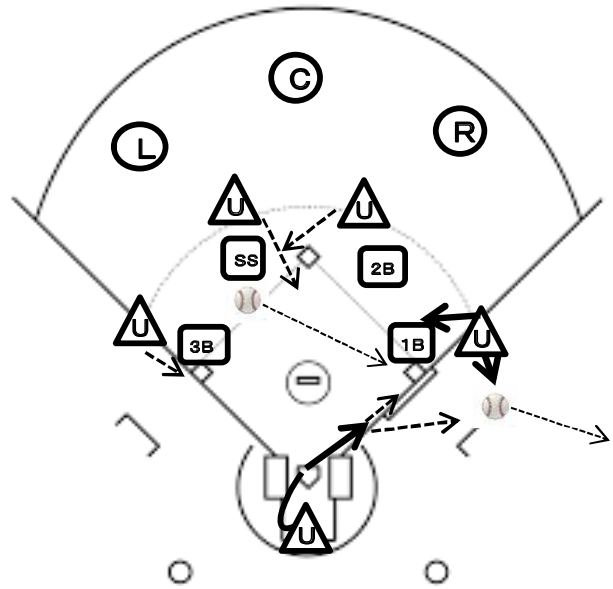
1塁でのプレイに備える

2B

2塁でのプレイに備える

3B

3塁でのプレイに備える



【走者1塁】

外野への打球の際の各審判員の責任

2塁塁審

- ① 塁審の立ち位置を内野内側(ベースライン内側)に位置する
- ② その位置について、1塁寄り・3塁寄りのどちらでも構わない。
 - * 1塁寄りの場合、3塁コーチャーBOX右側ラインの延長線上でかつ、ベースラインの1.5メートル位内側の位置
 - 3塁寄りの場合は、1塁コーチャーBOX 右側ラインの延長線上でかつ、ベースラインの1.5メートル位内側の位置
- ③ 上記対応で、外野の飛球(ライナー)に対する責任は持たない。

1塁塁審

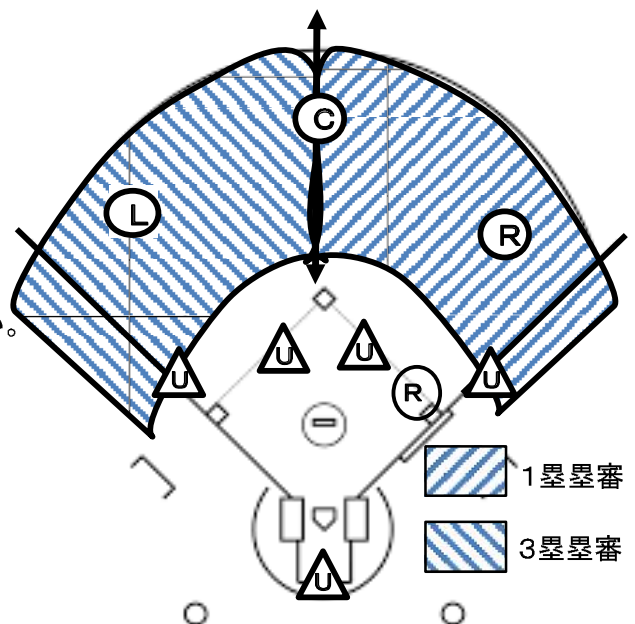
中堅手定位置(正面または背後の打球を含む)から、右翼線寄りの打球に責任を持つ。

3塁塁審

中堅手定位置から、左翼線寄りの打球に責任を持つ。

球審

外野への打球に対する責任を持たない。



1. 中堅手より左側の打球を3塁塁審が追った場合

PL

3塁でのプレイに備える。

1B

- ①打者走者の1塁触塁を確認
- ②打者走者が2塁に到達するまで、その場で留まる
- ③打者走者が3塁に向かい、球審が3塁へ移動したら本塁でのプレーに備える。

2B

1・2塁間に移動し、1塁走者の2塁触塁を確認し、1・2塁間でのプレイに備える。

3B

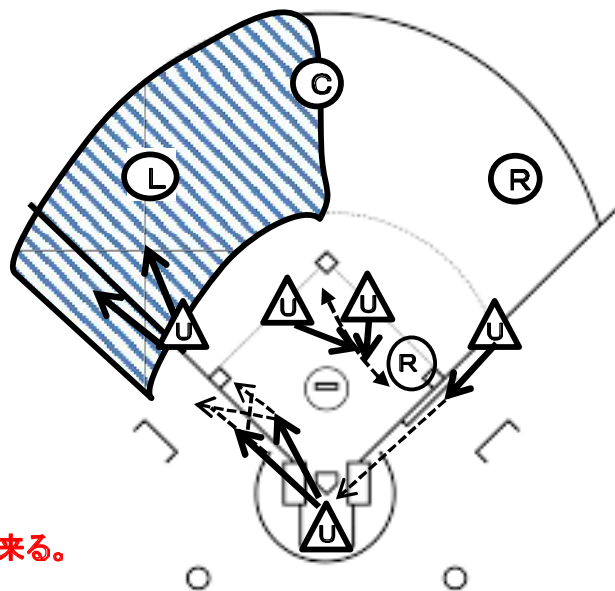
打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

追記 2アウトの場合、球審が本塁でのプレイに備える事が出来る。

上記対応の場合、(タイムプレーが起こり得るため)

1B 打者走者の触塁を確認し、打者走者の1・2塁間のプレイに備える。

2B 2・3塁間に移動し、1塁走者の2塁触塁を確認し、1塁走者の2・3塁及び打者走者の3塁でのプレイに備える。



2. 中堅手より右側の打球を1塁塁審が打球を追った場合

PL

- ①1塁走者のタッグアップ及び打者走者の1塁触塁を確認。
- ②プレイの状況を見ながら、本塁のプレイに備える。

1B

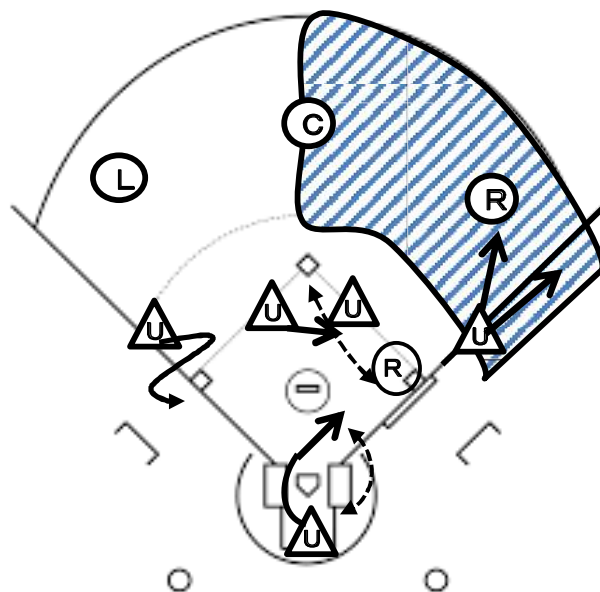
打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

2B

1・2塁間に移動し、1塁走者の2塁触塁を確認し、1・2塁間でのプレイに備える。(1塁走者及び打者走者の1塁への帰塁プレイを含む)

3B

3塁でのプレイに備える。



【走者2塁】

外野への打球の際の各審判員の責任

2塁塁審

- ① 塁審の立ち位置を内野内側(ベースライン内側)に位置する
- ② その位置について、1塁寄り・3塁寄りのどちらでも構わない。

* 1塁寄りの場合、3塁コーチャーBOX右側ラインの延長線上でかつ、ベースラインの1.5メートル位内側の位置

3塁寄りの場合は、1塁コーチャーBOX 右側ラインの延長線上でかつ、ベースラインの1.5メートル位内側の位置

- ③ 上記対応で、外野の飛球(ライナー)に対する責任は持たない。

1塁塁審

中堅手定位置(正面または背後の打球を含む)から、右翼線寄りの打球に責任を持つ。

3塁塁審

中堅手定位置から、左翼線寄りの打球に責任を持つ。

球審

外野への打球に対する責任を持たない。

* 外野への打球の際、各審判員の責任は、走者1塁と同じ

1. 中堅手より左側の打球を3塁塁審が追った場合

PL

本塁でのプレイに備える。

1B

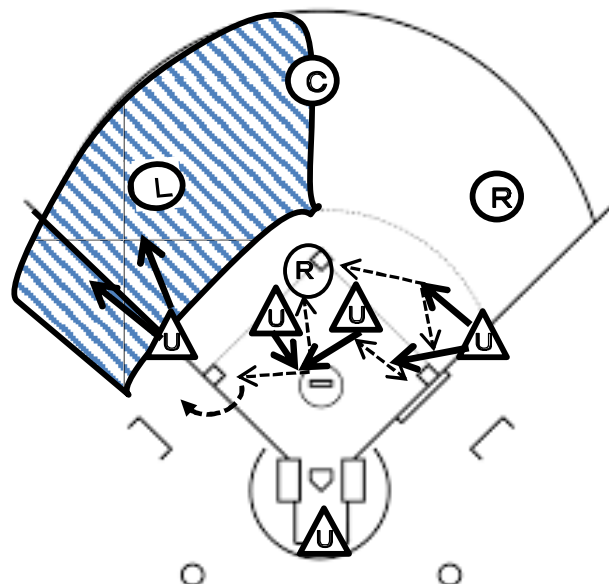
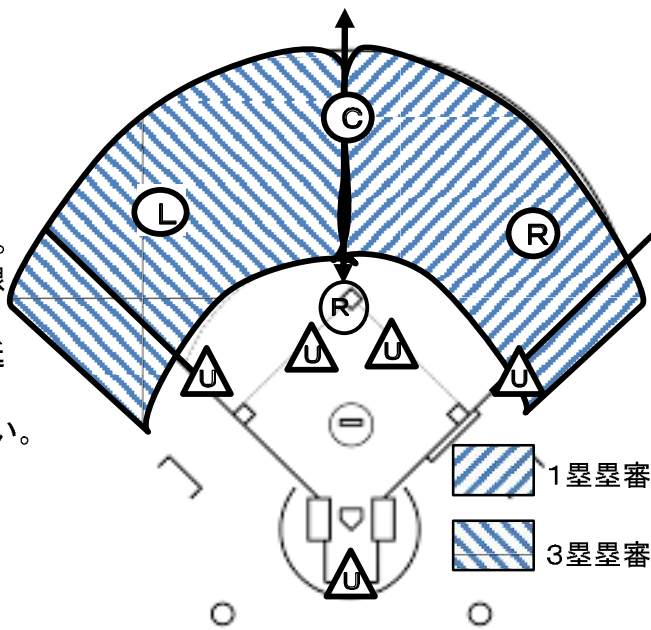
- ① 内野ベースライン内側に移動または、リミングによって打者走者の触塁を確認(ベースライン外側の移動でも可能)
- ② 打者走者の1・2塁間でのプレイに備える

2B

- ① 2・3塁間のマウンド方向に移動し、2塁走者のタッグアップまたは3塁触塁を確認
- ② 2塁走者の2・3塁及び打者走者の3塁のプレイに備える。

3B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。



2. 中堅手より右側の打球を1塁塁審が打球を追った場合

PL

本塁でのプレイに備える。

1B

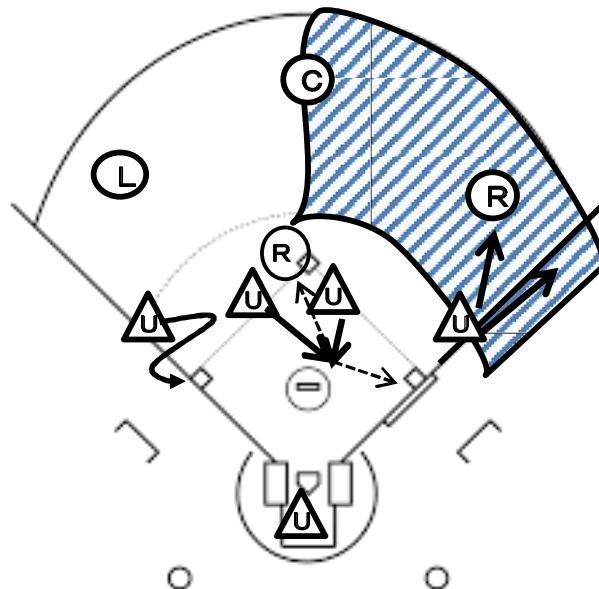
打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

2B

視野を広げながら、(ステップバック)2塁走者のタッグアップと打者走者の1塁触塁を確認し、1・2塁間のプレイに備える。

3B

3塁でのプレイに備える。



【走者3塁】

外野への打球判定の各塁審の範囲

1塁塁審

・右翼手定位置から右翼線よりの打球を判定

2塁塁審

①立ち位置は、二塁ベースの後方と遊撃手側後方に立つ

②2アウトの時は、無走者の時と同じ位置に立つ

③左翼手定位置(正面または背後の打球)から
右翼手定位置(正面または背後の打球)の判定)

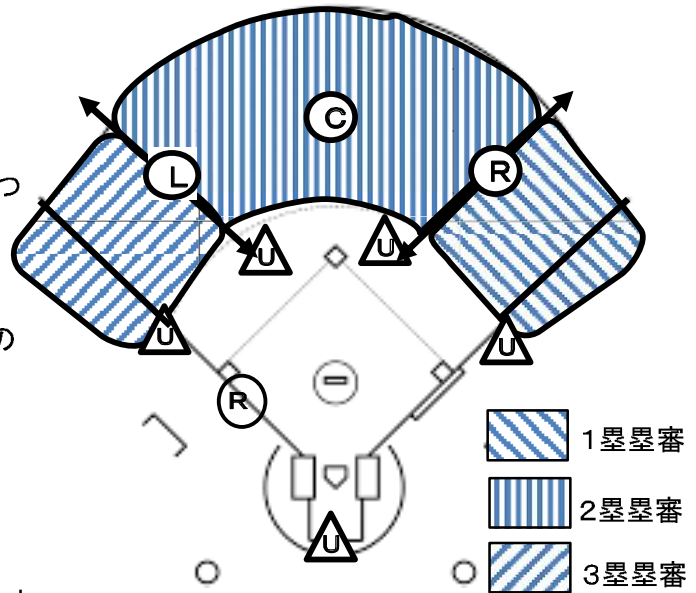
④左翼手寄りに位置した時は、左翼手寄りの打球以外の
左翼手への打球にも責任を持つ。

3塁塁審

・左翼手定位置から右翼線よりの打球を判定

球審

外野への打球に対しての責任は持たない。



*原則として、外野への打球の際、各審判の責任は、無走者と同じ。

1. 左翼手よりラインよりの打球を3塁塁審が追った場合

PL

3塁走者のタッグアップを確認し、本塁でのプレイに備える。

1B

①内野ベースライン内側に移動または、リミングによって打者走者の触塁を確認(ベースライン外側の移動でも可能)

②打者走者の1・2塁間でのプレイに備える

2B

3塁方向の内野ベースライン内側に移動し、3塁のプレイに備える。

3B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

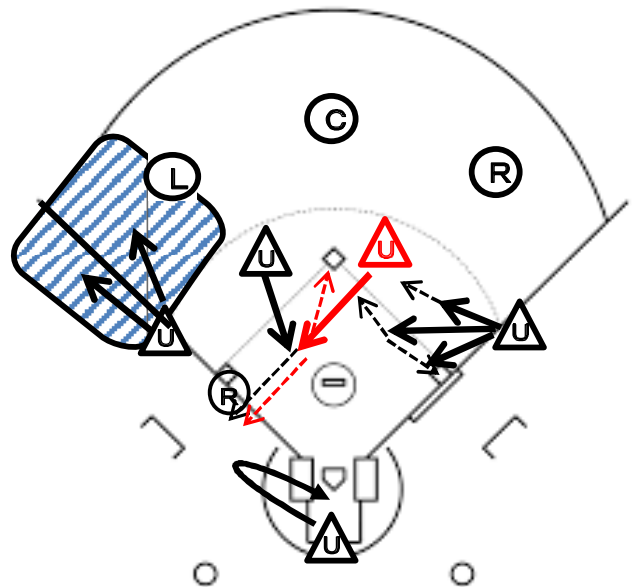
追記1 2アウトの場合、

①2塁塁審の位置で、無走者と同じ位置に立つ事ができる(基本位置)

②2塁塁審の責任及び動きは、打者走者の2・3塁でのプレイに備える。

③球審は、走者がスコアリングポジションにいるため本塁に留まる

④1塁塁審は、打者走者の1塁でのプレイだけに備える。



2. 右翼手よりラインよりの打球を1塁塁審が追った場合

PL

本塁でのプレイに備える。

1B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

2B

1塁方向の内野ベースライン内側に移動し、打者走者の1塁触塁を確認し、1・2塁間のプレイに備える。

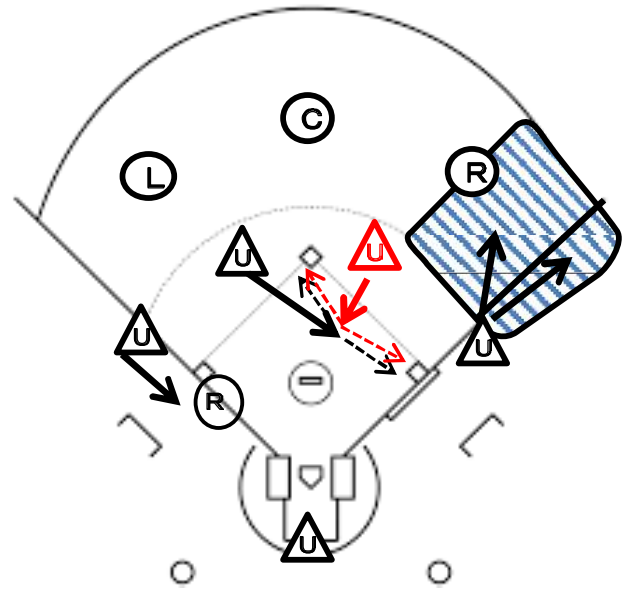
3B

3塁走者のタッグアップを確認し、3塁でのプレイに備える。

追記 2アウトの場合

①2塁塁審の位置で、無走者と同じ位置に立つ事ができる(基本位置)

②すべての審判員の責任及び、動きは変わらない。



3. 左翼手から右翼手までの打球を2塁塁審が追った場合

PL

本塁でのプレイに備える。

1B

①内野ベースライン内側に移動または、リミングによって打者走者の触塁を確認(ベースライン外側の移動でも可能)

②打者走者の1・2塁間でのプレイに備える

2B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

3B

3塁走者のタッグアップを確認し、3塁でのプレイに備える。

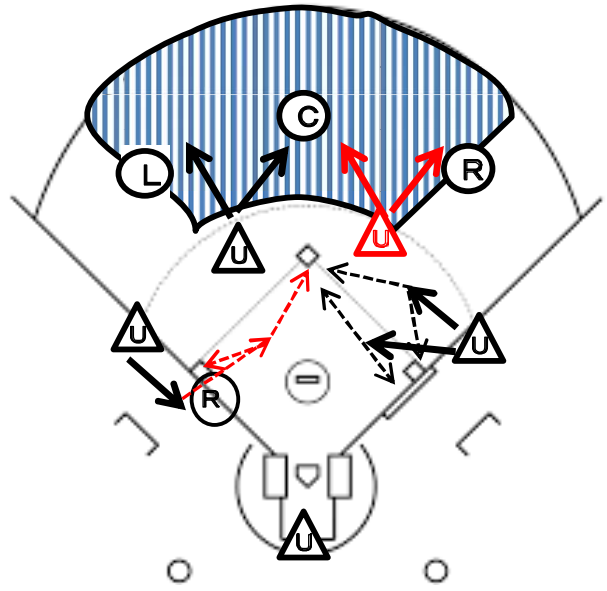
追記 2アウトの場合

①2塁塁審の位置で、無走者と同じ位置に立つ事ができる(基本位置)

②上記2塁塁審が位置した場合、3塁塁審の責任及び動きは、打者走者の2・3塁でのプレイに備える。

③球審は、走者がスコアリングポジションにいるため本塁に留まる

④1塁塁審は、打者走者の1塁でのプレイだけに備える。



【走者1・2塁】

1. 左翼手よりラインよりの打球を3塁塁審が追った場合

PL

本塁でのプレイに備える。

1B

①内野ベースライン内側に移動または、リミングによって打者走者の触塁を確認(ベースライン外側の移動でも可能)

②打者走者の1・2塁間でのプレイに備える

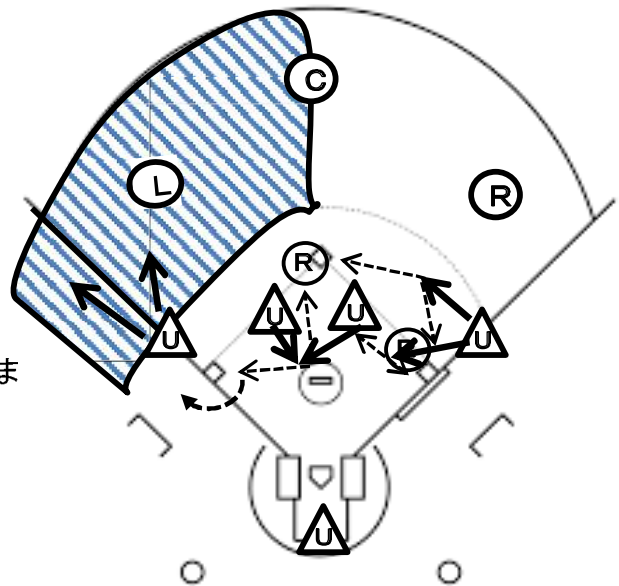
2B

①2・3塁間のマウンド方向に移動し、2塁走者のタッグアップまたは3塁触塁を確認

②2塁走者の2・3塁及び打者走者の3塁のプレイに備える。

3B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。



追記 2塁走者が3塁に向かった場合、2塁塁審は3塁に移動し、2塁でのプレイは1塁塁審が責任を持つ。

2. 中堅手より右側の打球を1塁塁審が打球を追った場合

PL

本塁でのプレイに備える。

1B

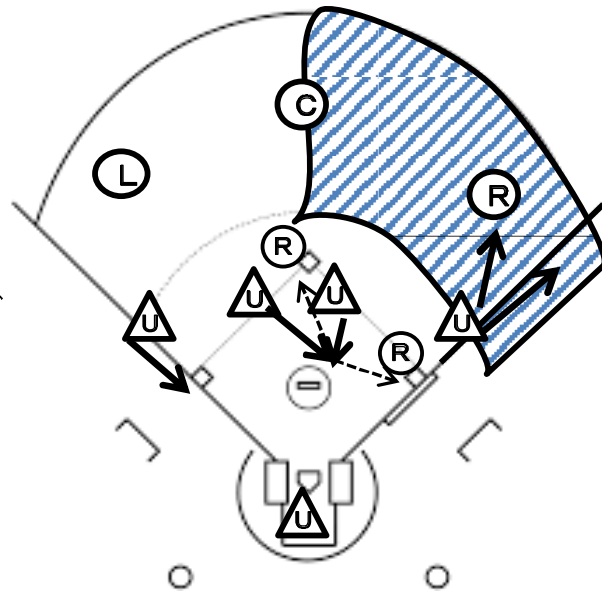
打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

2B

視野を広げながら、(ステップバック)1塁走者と2塁走者のタッグアップと1塁走者の2塁触塁と打者走者の1塁触塁を確認し、1・2塁間の全てのプレイに備える。

3B

3塁でのプレイに備える。



【走者1・3塁】

1. 左翼手よりラインよりの打球を3塁塁審が追った場合

PL

3塁走者のタッグアップを確認し、本塁でのプレイに備える。

1B

①内野ベースライン内側に移動または、リミングによって打者走者の触塁を確認(ベースライン外側の移動でも可能)

②打者走者の1・2塁間でのプレイに備える

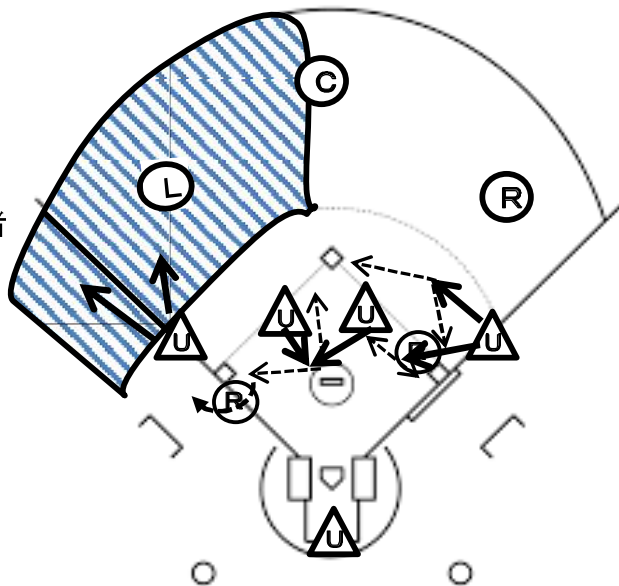
2B

①2・3塁間のに移動し、1塁走者の2塁触塁を確認

②2・3塁間のプレイに備える。

3B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。



追記 3塁走者が3塁に戻った場合及び1塁走者が3塁に向かった場合、2塁塁審は3塁に移動し、2塁のプレイは、1塁塁審が責任を持つ

2. 中堅手より右側の打球を1塁塁審が打球を追った場合

PL

本塁でのプレイに備える。

1B

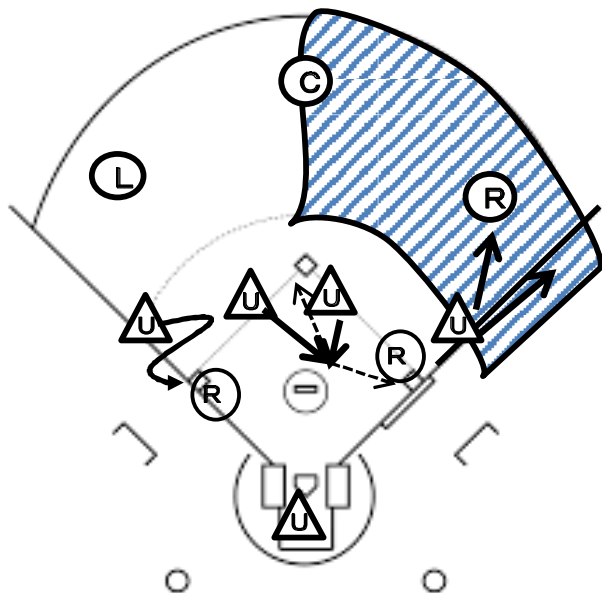
打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

2B

視野を広げながら、(ステップバック)1塁走者と2塁走者のタッグアップと1塁走者の2塁触塁と打者走者の1塁触塁を確認し、1・2塁間の全てのプレイに備える。

3B

3塁でのプレイに備える。



3. 左翼手よりラインよりの打球を3塁塁審が追った場合 (2塁塁審が外側に位置した場合と内野手の前進守備の場合)

* 二塁塁審は1塁走者の盗塁に備え、1塁と2塁を結ぶ延長線上に立つ

PL

3塁走者のタッグアップを確認し、本塁でのプレイに備える。

1B

①内野ベースライン内側に移動または、リミングによって打者走者の触塁を確認(ベースライン外側の移動でも可能)

②打者走者の1・2塁間でのプレイに備える

2B

3塁方向の内野ベースライン内側に移動し、3塁のプレイに備える。

3B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

追記① 3塁走者が3塁に戻った場合及び1塁走者が3塁に向かった場合、2塁塁審は3塁に移動し、2塁のプレイは、1塁塁審が責任を持つ

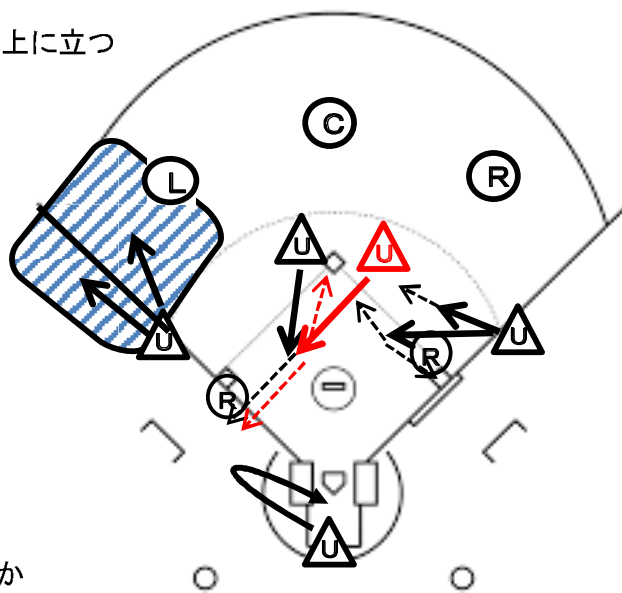
追記② 2アウトの場合、

①2塁塁審の位置で、無走者と同じ位置に立つ事ができる(基本位置)

②2塁塁審の責任及び動きは、打者走者の2・3塁でのプレイに備える。

③球審は、走者がスコアリングポジションにいるため本塁に留まる

④1塁塁審は、打者走者の1塁でのプレイだけに備える。



4. 右翼手よりラインよりの打球を1塁塁審が追った場合 (2塁塁審が外側に位置した場合と内野手の前進守備の場合)

* 二塁塁審は1塁走者の盗塁に備え、1塁と2塁を結ぶ延長線上に立つ

PL

本塁でのプレイに備える。

1B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

2B

1塁方向の内野ベースライン内側に移動し、打者走者の1塁触塁を確認し、1・2塁間のプレイに備える。

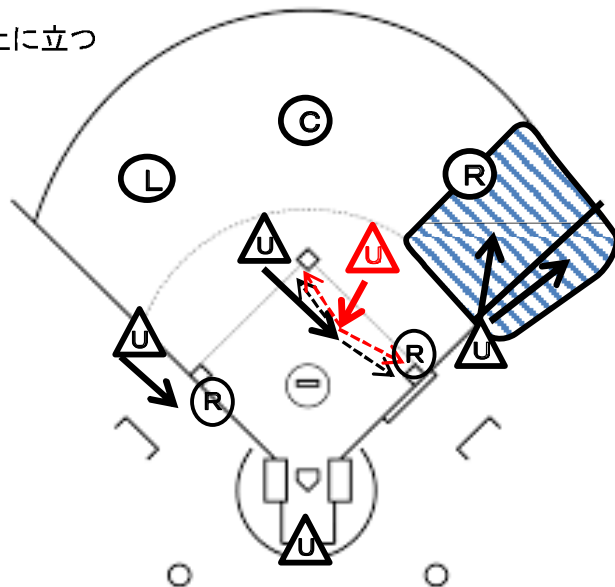
3B

3塁走者のタッグアップを確認し、3塁でのプレイに備える。

追記 2アウトの場合

①2塁塁審の位置で、無走者と同じ位置に立つ事ができる(基本位置)

②すべての審判員の責任及び、動きは変わらない。



**5. 左翼手から右翼手までの打球を2塁塁審が追った場合
(2塁塁審が外側に位置した場合と内野手の前進守備の場合)**

* 二塁塁審は1塁走者の盗塁に備え、1塁と2塁を結ぶ延長線上に立つ

PL

本塁でのプレイに備える。

1B

①内野ベースライン内側に移動または、リミングによって打者走者の触塁を確認(ベースライン外側の移動でも可能)

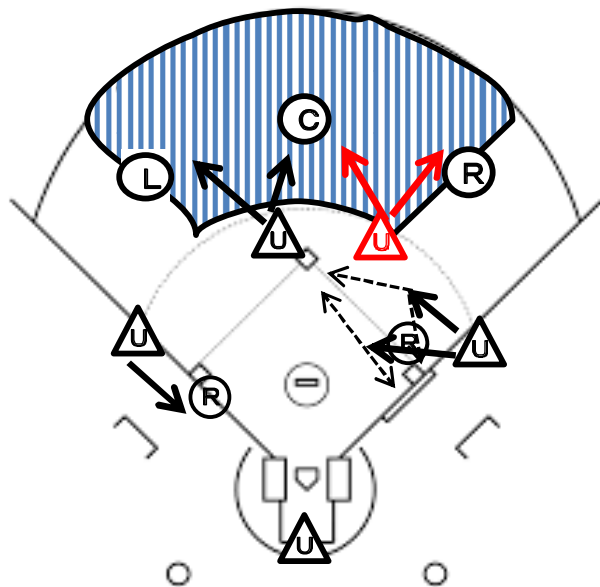
②打者走者の1・2塁間でのプレイに備える

2B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

3B

3塁走者のタッグアップを確認し、3塁でのプレイに備える。



6. 本塁後方にファウルフライが飛んで球審がその打球を追った場合

PL

捕手を避け、捕手の動きを見ながら(打球を見るのではなく)、角度を取り早くバックストップにつき、打球の方向を確認・判定する。

1B

3塁走者がタッグアップした場合、素早く本塁に移動し、本塁でのプレイに備える。

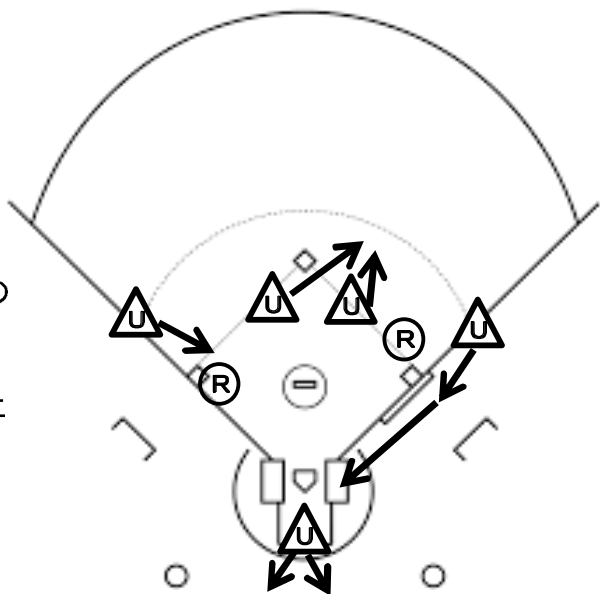
2B

ダイヤモンドの外に出て、角度を取って1塁走者のタッグアップに備える。

3B

3塁走者のタッグアップを確認し、3塁でのプレイに備える。

追記 走者2・3塁、満塁の場合も同様に、2塁塁審は、ダイヤモンドの外に出て、角度を取って1塁走者のタッグアップに備える。



【走者2・3塁】

1. 左翼手よりラインよりの打球を3塁塁審が追った場合

PL

3塁走者のタッグアップを確認し、本塁でのプレイに備える。

1B

①内野ベースライン内側に移動または、リミングによって打者走者の触塁を確認(ベースライン外側の移動でも可能)

②打者走者の1・2塁間でのプレイに備える

2B

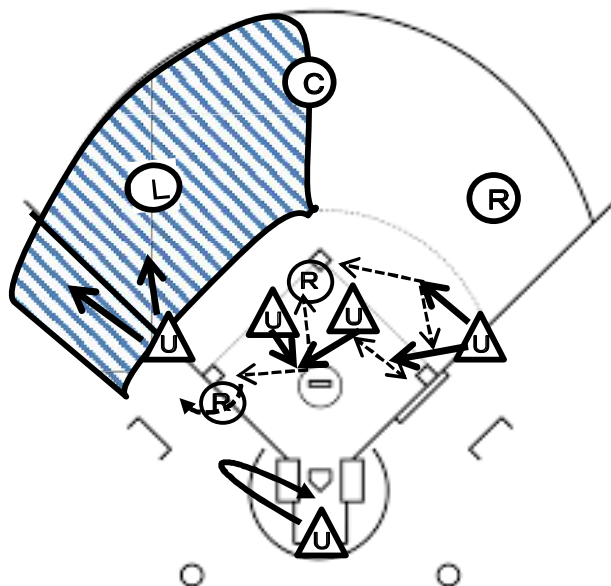
①2・3塁間の方に移動し、2塁走者のタッグアップ及び3塁触塁を確認

②2・3塁間のプレイに備える。

3B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

追記 3塁走者が3塁に戻った場合及び2塁走者が3塁に向かった場合、2塁塁審は3塁に移動し、2塁のプレイは、1塁塁審が責任を持つ



2. 中堅手より右側の打球を1塁塁審が打球を追った場合

PL

本塁でのプレイに備える。

1B

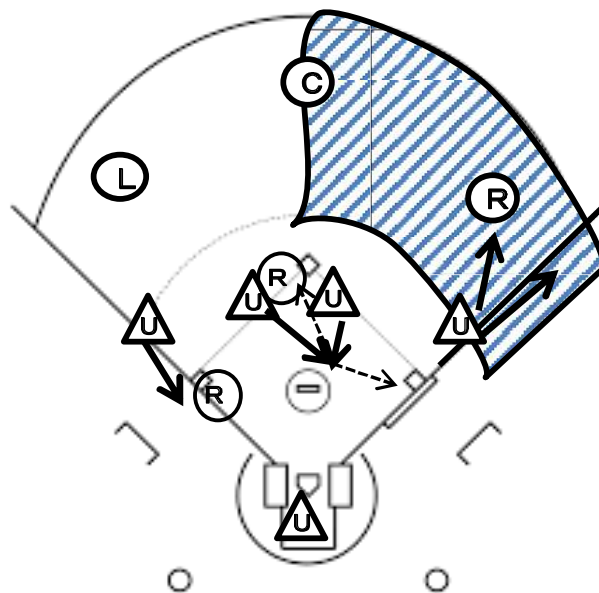
打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

2B

視野を広げながら、(ステップバック)1塁走者と2塁走者のタッグアップと1塁走者の2塁触塁と打者走者の1塁触塁を確認し、1・2塁間の全てのプレイに備える。

3B

3塁走者のタッグアップを確認し、3塁でのプレイに備える。



3. 左翼手よりラインよりの打球を3塁塁審が追った場合 (2塁塁審が外側に位置した場合と内野手の前進守備の場合)

* 2塁塁審は1塁走者の盗塁に備え、1塁と2塁を結ぶ延長線上に立つ

PL

3塁走者のタッグアップを確認し、本塁でのプレイに備える。

1B

①内野ベースライン内側に移動または、リミングによって打者走者の触塁を確認(ベースライン外側の移動でも可能)

②打者走者の1・2塁間でのプレイに備える

2B

①2・3塁間のベースライン内側に移動し、2塁走者のタッグアップまたは、3塁の触塁を確認

②2・3塁間のプレイに備える。

3B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

追記① 3塁走者が3塁に戻った場合及び1塁走者が3塁に向かった場合、2塁塁審は3塁に移動し、2塁のプレイは、1塁塁審が責任を持つ

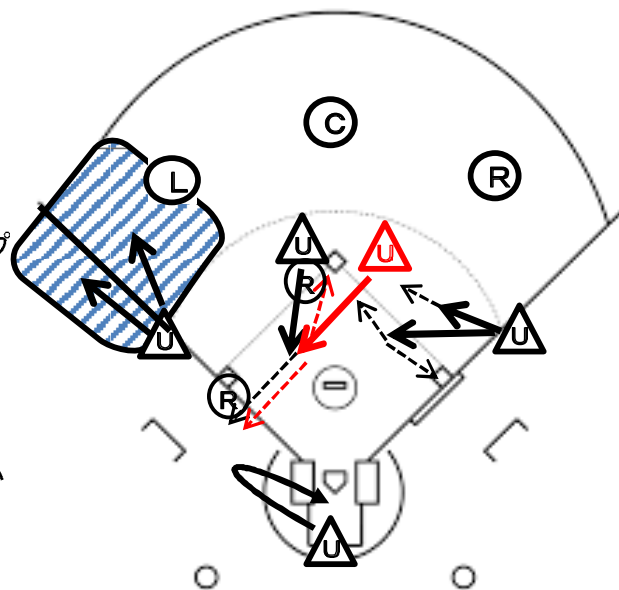
追記② 2アウトの場合、

①2塁塁審の位置で、無走者と同じ位置に立つ事ができる(基本位置)

②2塁塁審の責任及び動きは、打者走者の2・3塁でのプレイに備える。

③球審は、走者がスコアリングポジションにいるため本塁に留まる

④1塁塁審は、打者走者の1塁でのプレイだけに備える。



**4. 右翼手よりラインよりの打球を1塁塁審が追った場合
(2塁塁審が外側に位置した場合と内野手の前進守備の場合)**

* 二塁塁審は1塁走者の盗塁に備え、1塁と2塁を結ぶ延長線上に立つ

PL

本塁でのプレイに備える。

1B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

2B

1塁方向の内野ベースライン内側に移動し、2塁走者のタッグアップ及び打者走者の1塁触塁を確認し、1・2塁間のプレイに備える。

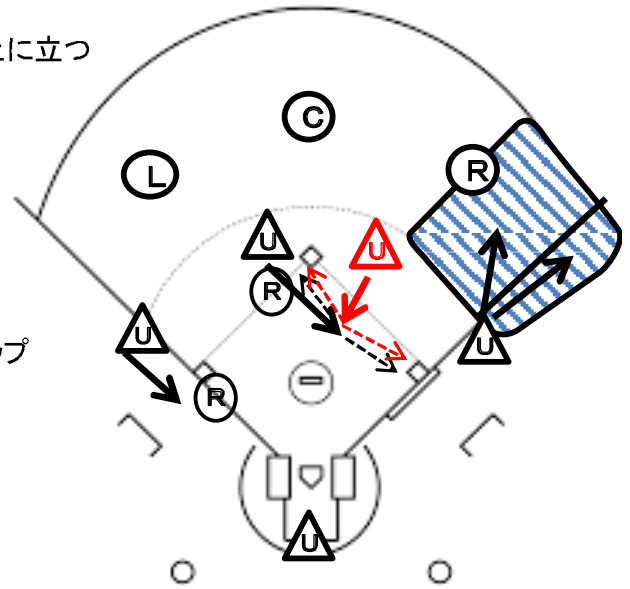
3B

3塁走者のタッグアップを確認し、3塁でのプレイに備える。

追記 2アウトの場合

①2塁塁審の位置で、無走者と同じ位置に立つ事ができる
(基本位置)

②すべての審判員の責任及び、動きは変わらない。



**5. 左翼手から右翼手までの打球を2塁塁審が追った場合
(2塁塁審が外側に位置した場合と内野手の前進守備の場合)**

* 二塁塁審は1塁走者の盗塁に備え、1塁と2塁を結ぶ延長線上に立つ

PL

本塁でのプレイに備える。

1B

①内野ベースライン内側に移動または、リミングによって2塁走者のタッグアップおよび打者走者の触塁を確認(ベースライン外側の移動でも可能)

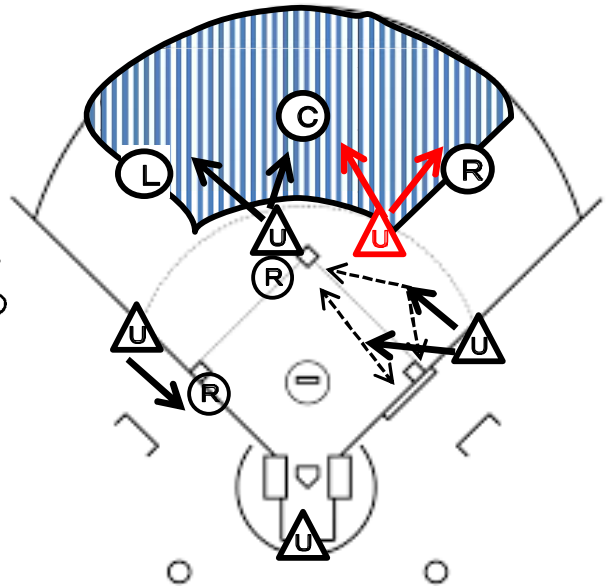
②打者走者の1・2塁間でのプレイに備える

2B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

3B

3塁走者のタッグアップを確認し、3塁でのプレイに備える。



【走者満塁】

1. 左翼手よりラインよりの打球を3塁塁審が追った場合

PL

3塁走者のタッグアップを確認し、本塁でのプレイに備える。

1B

①内野ベースライン内側に移動または、リミングによって2塁走者のタッグアップおよび打者走者の触塁を確認(ベースライン外側の移動でも可能)

②打者走者の1・2塁間でのプレイに備える

2B

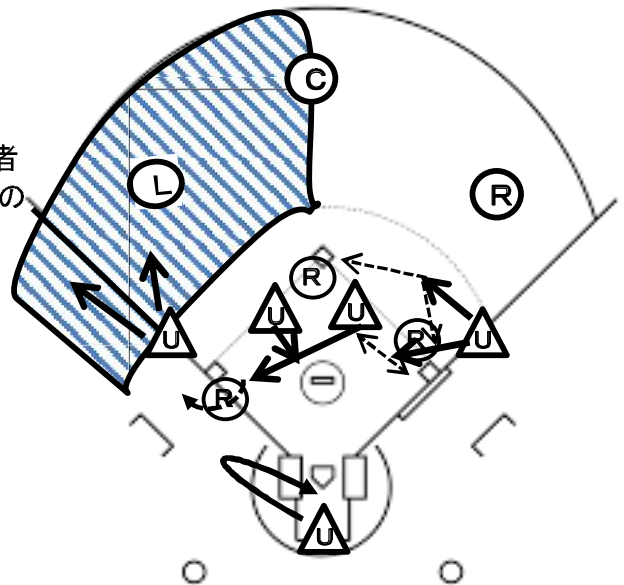
①2・3塁間の方に移動し、2塁走者のタッグアップ及び3塁触塁を確認

②2・3塁間のプレイに備える。

3B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

追記 3塁走者が3塁に戻った場合及び2塁走者が3塁に向かった場合、2塁塁審は3塁に移動し、2塁のプレイは、1塁塁審が責任を持つ



2. 中堅手より右側の打球を1塁塁審が打球を追った場合

PL

本塁でのプレイに備える。

1B

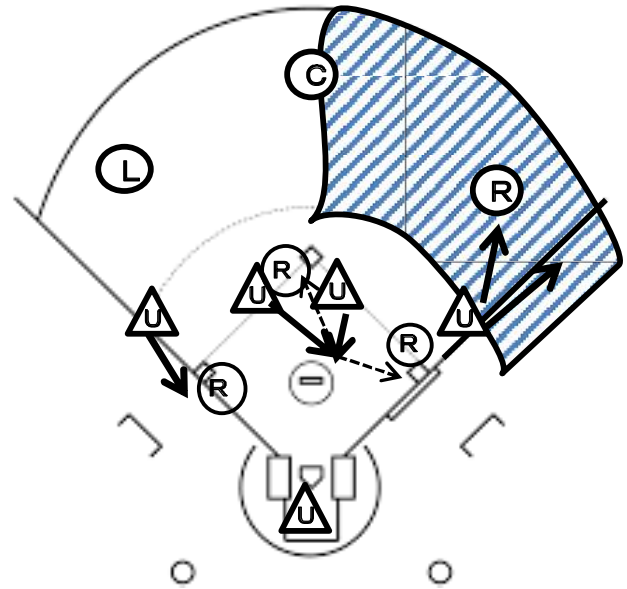
打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

2B

視野を広げながら、(ステップバック)1塁走者と2塁走者のタッグアップと1塁走者の2塁触塁と打者走者の1塁触塁を確認し、2塁間の全てのプレイに備える。

3B

3塁走者のタッグアップを確認し、3塁でのプレイに備える。



3. 左翼手よりラインよりの打球を3塁塁審が追った場合 (2塁塁審が外側に位置した場合と内野手の前進守備の場合)

* 二塁塁審は1塁走者の盗塁に備え、1塁と2塁を結ぶ延長線上に立つ

PL

3塁走者のタッグアップを確認し、本塁でのプレイに備える。

1B

①内野ベースライン内側に移動または、リミングによって打者走者の触塁を確認(ベースライン外側の移動でも可能)

②打者走者の1・2塁間でのプレイに備える

2B

①2・3塁間のベースライン内側に移動し、2塁走者のタッグアップまたは、3塁の触塁を確認

②2・3塁間のプレイに備える。

3B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

追記① 3塁走者が3塁に戻った場合及び1塁走者が3塁に向かった場合、2塁塁審は3塁に移動し、2塁のプレイは、1塁塁審が責任を持つ

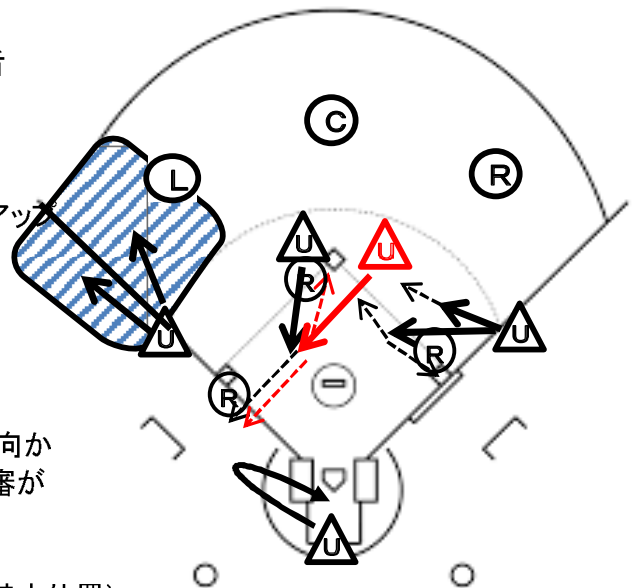
追記② 2アウトの場合、

①2塁塁審の位置で、無走者と同じ位置に立つ事ができる(基本位置)

②2塁塁審の責任及び動きは、打者走者の2・3塁でのプレイに備える。

③球審は、走者がスコアリングポジションにいるため本塁に留まる

④1塁塁審は、打者走者の1塁でのプレイだけに備える。



**4. 右翼手よりラインよりの打球を1塁塁審が追った場合
(2塁塁審が外側に位置した場合と内野手の前進守備の場合)**

* 二塁塁審は1塁走者の盗塁に備え、1塁と2塁を結ぶ延長線上に立つ

PL

本塁でのプレイに備える。

1B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

2B

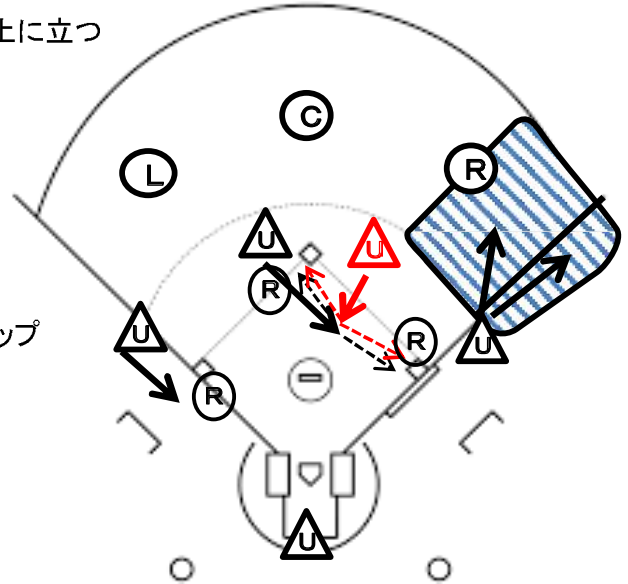
1塁方向の内野ベースライン内側に移動し、2塁走者のタッグアップ及び打者走者の1塁触塁を確認し、1・2塁間のプレイに備える。

3B

3塁走者のタッグアップを確認し、3塁でのプレイに備える。

追記 2アウトの場合

- ①2塁塁審の位置で、無走者と同じ位置に立つ事ができる(基本位置)
- ②すべての審判員の責任及び、動きは変わらない。



**5. 左翼手から右翼手までの打球を2塁塁審が追った場合
(2塁塁審が外側に位置した場合と内野手の前進守備の場合)**

* 二塁塁審は1塁走者の盗塁に備え、1塁と2塁を結ぶ延長線上に立つ

PL

本塁でのプレイに備える。

1B

①内野ベースライン内側に移動または、リミングによって2塁走者のタッグアップおよび打者走者の触塁を確認(ベースライン外側の移動でも可能)

②打者走者の1・2塁間でのプレイに備える

2B

打球を追い、その行方を確認・判定後、プレイが一段落するまでその場に留まる。

3B

3塁走者のタッグアップを確認し、3塁でのプレイに備える。

